

粉末培地

品名	製品コード	包装	希望納入価	使用法
炭酸水素ナトリウム不含 1 9 9 培 地 「ニッスイ」 Medium 199 “Nissui”	05909	100g	5,000 円	本品 9.5g を蒸留水に溶解し、全量を 1,000mL とする（加熱厳禁）。炭酸水素ナトリウムを適量加え、(1.3~2.2g を加えた場合、5%CO ₂ ガス下、37℃での pH は 7.1~7.4)、溶解させたのち、直ちにろ過滅菌する。あらかじめ CO ₂ ガスで pH を下げてからろ過すれば過度の pH の上昇を防ぐことができる。すぐに使用しない場合は、密栓して冷暗所 (2~10℃) に保存する。使用前に、目的に応じて適量の血清を加える。 注 意 本品は L-グルタミンを含み、炭酸水素ナトリウムを含んでいない。
組		成		摘 要
9.5g (1L 分) 中 塩化ナトリウム……………6,800mg 塩化カリウム……………400mg 塩化カルシウム (無水) ……200mg 硫酸マグネシウム (無水) …97.7mg リン酸二水素ナトリウム (一水和物) ……………125mg 硝酸鉄 (Ⅲ) (九水和物) ……0.72mg 酢酸ナトリウム……………50mg アデノシン 5'三リン酸 ニナトリウム……………1mg ブドウ糖……………1,000mg L-アルギニン塩酸塩……………70mg L-ヒスチジン塩酸塩水和物 ……………21.9mg L-リジン塩酸塩……………70mg L-トリプトファン……………10mg L-フェニルアラニン……………25mg L-メチオニン……………15mg L-セリン……………25mg L-トレオニン……………30mg L-ロイシン……………60mg L-イソロイシン……………20mg L-バリン……………25mg L-グルタミン酸……………66.8mg L-アスパラギン酸……………30mg L-アラニン……………25mg L-プロリン……………40mg L-ヒドロキシプロリン……………10mg グリシン……………50mg L-グルタミン……………100mg L-シスチン……………20mg L-チロシン……………40mg L-システイン塩酸塩水和物 ……………0.11mg		ρ-アミノ安息香酸……………0.05mg D-ビオチン……………0.01mg パントテン酸カルシウム……………0.01mg 葉酸……………0.01mg myo-イノシトール……………0.05mg ニコチン酸……………0.025mg ニコチン酸アミド……………0.025mg ピリドキサル塩酸塩……………0.025mg ピリドキシン塩酸塩……………0.025mg リボフラビン……………0.01mg チアミン塩酸塩……………0.01mg ビタミン A アセテート……………0.1mg L-アスコルビン酸……………0.05mg リン酸 α-トコフェロール ニナトリウム……………0.01mg カルシフェロール……………0.1mg 2-メチル-1,4-ナフトキン……………0.01mg 重酒石酸コリン……………0.9mg 2-デオキシ-D-リボース……………0.5mg アデニン……………10mg グアニン塩酸塩……………0.3mg ヒポキサンチン……………0.3mg チミン……………0.3mg ウラシル……………0.3mg キサンチン……………0.3mg AMP-2Na……………0.2mg D-リボース……………0.5mg グルタチオン……………0.05mg コレステロール……………0.2mg ポリソルベート 80……………5mg フェノールレッド ……………6mg 別に添加すべきもの 炭酸水素ナトリウム……………適量		199 培地「ニッスイ」は、Morgan, Morton および Parker の合成培養液の処方に従って当社が特殊な製法により調合作製した粉末培地である。 本培地は、各種のアミノ酸、ビタミン、核酸成分と少数の中間代謝物その他を含んでいる。本培地単独では細胞の増殖は期待できないが、ポリオ・ワクチンその他のウイルス研究で細胞の維持培養液として広く利用されている。また血清を加えると、増殖培地として初代培養にきわめてすぐれている。 貯 法 本培地粉末は、密栓して乾燥した冷暗所 (2~10℃) に保存。 使用期限 製造後 1 年間。